京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

刑事探偵に就て

日本法律學士　岩本英夫

總て社會の安寧秩序を害し法律の禁制命令に違反するものあれば直ちに一種の犯罪を構成す然るときは嚴重なる犯罪の捜査をなし峻嚴なる法律を以て犯罪の禍根を絶ち社會の公安維持に勗め犯罪人に對しては法律の命ずる範圍に於て相當の制裁を加へ犯者膺懲の目的を達せざる可からず此目的を達する第一着として犯罪の捜索を必要とす此犯罪の捜査に着手し犯罪者たる要素を具備する爲め種々の證據を蒐集する機關は即ち檢事及び司法警察官たるは刑訴法の命ずる所なり故へに犯罪者あるときは檢事及司法警察官は告訴又は告發の趣意に基き犯罪者として起訴の手續を爲すに必要なる證據蒐集を爲すは檢事又は司法警察官の專權に屬するものなれば犯罪者に對する捜査處分の證據蒐集は檢事又は司法警察官は自己の本務として自ら着手するが如きは法律の原則なれども僅少の檢事又は司法警察官をして多方面に跨がる犯罪に就き犯罪を探査し證據蒐集を爲すが如きは經費又は人員に制限あれば到底實行し能はざるを以て法律は檢事が犯罪を捜査するに當り警視、警部長、警部、警部補（刑事巡査）憲兵、將校、下士、島司、郡長、林務官、市長、村長を補佐にして其指揮を受け司法警察官として犯罪の捜索を許せども警部補（刑事巡査）を除く外は大概自己の所管事務に屬する犯罪政治犯及軍事犯者に對する場合に司法警察官として犯罪の捜索に着手する事あれども社會に日々生ずる通常犯の犯罪捜索に付ては檢事又は司法警察官の補佐として直接犯者に接し晝夜兼行多方面に跨る犯罪の捜索に從事するものは警部補に代位する刑事巡査なり此巡査は巡査中より奇才に富み常識を有し鋭敏熱心沈着剛膽にして學力の素養ある者を其任に當らしむるものなれば檢事又は司法警察官より犯罪捜査の命を受けたるときは命令者の意思を肺肝に刻銘し非常なる活動を爲すものなり刑事巡査は較もすれば警察署にて定規の勤務に從事する巡査に比し其行動規律なく秩序なく恰かも一見浮浪の如き觀をなすものあれども斯くの如き觀察をなすものは誤觀も甚しきものと云はざる可からず。刑事巡査は犯罪捜査の補佐として多方面に跨る犯罪行爲に付き直接間接に實査を遂げ又た實査を遂ぐるの方法として種々變裝をなし奇計術策有らゆる手段を盡くし非常なる勤勞と熱心とを以つて犯罪捜査に從事す且つ一つの大犯罪生ずるや犯罪捜査の爲め朝は星を戴いて出て夕には月を踏んで歸り其勞苦殆んど寢食を忘るゝに至る故に非常なる勤勉と勞苦とを以て得たる犯罪捜査の經過を主任官に報告し受命職務の終了を遂げる者なれば余は刑事巡査を以て犯罪捜査の主腦なりと云はんとす然れども犯罪捜査に對する熱心と勤勉とが變じて時に功名心の競爭となり爲めに或は誤つて無辜の良民に累を及ぼす場合なきにしもあらず刑事巡査は犯罪捜査の命を受くるや功名心に驅られ成丈け多數の犯罪者を檢擧し主任官に對する自己の成績を良好ならしめんとする傾きなきにしもあらざる嫌なしとせず是れ余の五年間刑事辯護人として實驗する處なり功を立て名を顯はす如きは人間人情の常として欲する處なれど被嫌疑者に對し其の意思に反する自白をなさしめ爲めに多數の犯罪者を檢擧し主任官に對し自己の利益の爲め成績を良好ならしむるの必要なきものと信ず他人を陷害し自己の功を立つるか如きは功を立て名は顯はると雖も眞の功名に非ずして人情の眞髓を解せざる不忠者にして犯罪捜査の眞價を誤まれるものと云はざる可からず翻て被嫌疑者に於ては公平なる法廷の審理を受け假令無罪の宣告を受くるも社會に對する信用を失墜し其不幸實に名狀すべからざるに至る故に刑事巡査は犯罪捜査に付き補佐の命を受くるや犯罪者總ての行爲に付き將來も猶現在の如く公平廉直なる捜査を成し捜査權實行の本旨に添ふべく努められんことを又犯罪捜査の主任官たる檢事又は司法警察官は犯罪捜査の補佐に任する刑事巡査の報告を公平無私の首腦を以て判斷し咀嚼玩味長短取捨以て捜査權の實行を確實せられん事を切望して止まざるなり

中山大納言

第六十二席　桃川燕玉演

高山彦九郎は晝が夜でもそんな事には構はない、足に任せて行く處まで行つて、疲れたら其處で寢る、目が覺める直ぐ出掛る、晝夜兼行と云ふ。江上閣龍の道場を飛出すとスタ／＼やつて參りましたのが、下谷の徒士町から上野の廣小路へ出て、湯島の切通しと云ふのを上り、あれから本郷四丁目、追分から段々乘込んで來たのが板橋と云ふ處。もうこれ夜の五ツ半かれこれ四ツにもならうかと云ふ、只今で申す午後九時少し廻りまして、はや十時にもならうと云ふ時分、板橋の宿へ掛つて來ると橋がござゐまする、江戸の地を離れましてもうこれ板橋邊、夜分往來の者は一人もあり致しませぬ、ドン／＼其橋へ掛つて來ると橋の眞正中に何かある、一足後へ退つて、見ると大きな男が二人、頭を向合せて橋の眞中に寢て居る『なんだ飛んだ所に人が寢て居る、乞食のやうでもない、酒にでも醉つて斯樣な所に寢て居るのか、まア面倒だ跨いで通れ』とズカ／＼と來た彦九郎頭の上を跨いで向ふへどん／＼行過ぎると、ムク／＼と起上つた二人が、○『ヤイ待……ヤイ待て』彦『何だ』○『何だぢやねい人が好い心地に寢て居る、何だつて頭の上を跨いで通りやがる、泥棒め、なぜ挨拶をして行かない御免なすつて下さいとか御免なすつて呉んなせいとか言へア退いてもやる又起きるのが大儀なら構ひなせい跨ぎなせいと言つた時に跨いで通れ默すまで人の寢て居る頭の上を跨いで通る飛んでもない奴だ、さア勘辨出來ねい待……』彦『馬鹿を言へ、天下の大道汝等が寢て居る所ではない跨いで通つて惡ければなぜ寢る所へ參つて寢て居らぬ往來の眞中に汝等が寢て居るから跨いで通つた白痴奴め』○『何が白痴だ、飛んでもない事をほざきやアがる、さア勘辨出來ねい』△『それとも命が惜しけりや身ぐるみそつくり置いて行けア宜し、四の五のとほざきやア仕方がねい、汝の素首叩斬つて河へほかし込んで、身ぐるみ此方へ打奪るからさう思へ』、ムク／＼と突立つた二人、何處に隱していつたか長やかな大刀をぎらりと引拔いた、彦九郎之を見ると彦『何だ貴樣達は泥棒だナ、ヤア飛んでもない奴、道理こそ往來の眞中に寢て居る、さア一殺多生、天下の人の爲に汝等を斬つて往來の妨害を除き、軍神の血祭り、汝等の首は斬つて捨てる、覺悟に及べ、さア來い』と云ッカ／＼と前へ乘込んで來た彦九郎、大の眼を見開いて彼の二人を礑と睨んだ、眼光輝き渡つて髮逆に立つた其勢ひの恐ろしいの恐しくないの、二人の奴は彦九郎の顏色を見てキャッと云ふと横つ飛にドン／＼逃げてしまつた、『何だ白痴な奴、イヤ飛んだ暇食をしたと、其儘彦九郎はドン／＼行つてしまつた、此二人の奴め膽を潰して逃げたのが、間もなく召捕りになりまして傳馬町の御牢内に打込まれた、と御牢内には牢名主と云つて、罪人の中に又切盛をする奴がある、其奴が新入りだと云ふので二人の盜賊を呼んで 名主『ヤイ、手前達は娑婆に居る時に何か面白い事があつたか、變つた話があるなら一つ聞かしてくれ、面白い土産話はないか』と言つて牢名主が二人の者に聞くと ○『左樣でごせいやす、斯う云つちやア別段御話をするやうな珍しい事もごせいやせんが、俺共二人がまア今迄に覺えのねい恐しい思をした、此はまア一つ話だから名主樣に申上げやすが、世の中に天狗なんてものはあるの無いのと能く人が申しやすが、無いつて方は嘘で、全く天狗と云ふ者はごせいやす、私共は現に天狗に出會つたどうも、驚いちまつたつて膽玉ア打潰して仕舞ひやした 名主『エ天狗に會つた、何處で會つた、瘤ヶ原か乃至は道龍樣の山でゝも出會したか △『イエそんな處なら此方も覺悟して居るからうれ程驚きもしねい、飛んだ所で天狗樣に出會した 名主『何處だ』△『なに板橋で斯う／＼橋の眞中へ私共は寢込んで居て、何か宜い鴨が掛つたら一〆占めやうと、待つてる所へ士が一人通り掛つた、私共が寢て居る頭の上を跨いで平氣ですん／＼通つて行つた、それから野郎を呼び止めて威したんだ、すると其野郎が大層腹ア立つて、一殺多生、往來の者の爲に手前達を斬つちまうと斯う言ひやしていきなり、私共の前へヅカ／＼と來て、私共を睨んだ、イヤ其奴のどうも眼球の大きいたつて光るつたつてどうも驚いてしまひやした、あれが本當の天狗樣に違ひござりやせぬ、一睨睨まれたんで慄ひ上つちまつてどうする事も出來やせぬ、命から／＼一生懸命逃げちまつたんで、今以て思出すと身の毛が慄つやうでごせいやすが、どうも世の中には何でごせいやすナ、大變なものが居りやす、なんでも人の言ふ事をけなすもんぢやあございやせぬ、天狗がねいなんていのは大間違ひ、天狗は居りますョ』○『ヘイ天狗てフーむさうか、天狗かい……』どうも今以て目に就いて居りやす』と云つて此盜賊が一つ話にした、此奴が高山彦九郎に睨み付けられました賊であつた、實に高山彦九郎の勢ひと云ふものは大したものでございます。

京城新報

東電果して信ず可き乎

廿七日發の東電は亦しても統監の更迭說を傳へ來りぬ、曰く曾禰統監の健康は到底劇務に堪へざるは元老閣員間に既に認められ後任撰定中也而して寺內現陸相長谷川大將呼聲最も高かりしが軍人なれば迚昨今子爵伊東巳代治氏を擬するものありて漸次勢力高まり來れり此更迭說は某閣員も之を漏らし居れば事實として確信するを得べし云々、果して之れ事實として確信するを得べきか、余輩は未だ俄に之を信ずる能はざる也、如何に閣員の或者が之を漏らしたりと報じ來るも、現在統監の病痾は日に快方に赴きつゝありて現に今や政務を見つゝあることを知る、殊に昨日の京城日報は統監の病狀は昨今殆ど全快に復し元氣旺盛平時に異らざるも唯善後靜養の爲め劇務に當らざる迄にて大概の事務は日々官邸に於て親しく見らると、果して之を事實なりとすれば統監の健康は到底劇務に堪へざるの故を以て更迭せらるべしとの東電は全然虛報と認めざるを得ず、然らば其に東電は果して虛報なるべき乎。

然れども更に東電を顧れば其末尾に此更迭說は某閣員之を漏らし居れば事實として確信するを得べしとあるを以てすれば唯一片の流布說とも思はれず、世人は茲に於てか大に其異偶に迷はざるを得ず、統監の病狀に就て疑を存するものは曰く、今一時は回復の徵あるも前途到底劇務に鞅掌すること能はざるべし、更迭說の起れるは之が爲なるべし、畢竟之れ一の[illegible]說に過ぎざるべからんと、[illegible]統監更迭說を事實とすれば斯く推測するの外あらず、而して余輩は統監にして若しも東電の報ずるが如く交迭せらるゝとするも、今後の統監政治に頓挫を來たすが如きことなきは萬々信ずる所なれども、能ふ可くんば曾禰子爵の抱負を現實して產業政策の美果を見むことを希望するど切也、然れども實際子爵の健康が長く劇務に當るに堪へずとせば、人物拂底の世國家の爲め一日も早く閑地に就て靜養せらるゝこそ望ましけれ、今や秋漸く高く、子爵の最も愛する菊花は將さに其美を競はんとす、此時に於て片瀨の別墅に菊花の栽培を樂むには忽ちに其健康を復し來らむ乎

後任の撰定に寺內長谷川の呼聲高きも軍人なれば迚昨今は伊東巳代治子に擬するもの多しと、若し夫れ更迭を事實とすれば伊東子爵は最も適任に近しと云はざるべからず、唯彼の器局大ならず、部下を信任し部下に手腕を揮はしむる雅量乏し、彼は辛辣なる手腕を有するも時に深酷に過ぎて敵を作る、然れども或事に遭遇して之を斷ずるに勇あること或は現今の政治家中稀に見る所ならむ、若し此人を後任者とすれば部下に特殊の人物を配置するの要あらむ。

今は後任者の評論を爲すの時機に非ず、唯夫れ東電の信ずべきか將た信ずべからざるかの問題也。

●忠淸北道生產消費額

忠北に於ける產業狀況を聞くに年產額三百六圓、生產消費超過額十六萬九千〇十一圓なりと云ふ

東京電報

▲金澤の不敬事件

金澤市に發行せる北國新聞は東宮殿下行啓に際し不敬の記事を掲げ本二十八日告發せられたり(二十八日發)

▲米穀立會の中止

東京米穀取引所に對し農商務省は嚴重なる注意を與へ其結果本月中立會を中止して解決を計る筈(同上)

▲間島領事館の開期

間島總領事館は十一月三日開館の豫定にて準備を急ぎ居れり(同上)

▲日英博の出品數

日英博覽會に對する出品は一千百三十七人此點數六萬余に達し以上全部は出品困難なり

▲證據金の振替命令

韓國銀行創立事務所は昨二十七日取扱銀行に對し證據金を當座預金へ振替の命令を發す

▲事務總長の決定

愛國婦人會事務總長淸浦子爵に決定し十月七日發表さると

▲露戰死者改葬式

稻佐に於ける露國軍人二百五十二名の改葬紀念式は今二十八日擧行さる露國大使主祭となりニコライ教僧の祈禱あり在留陸海軍人多數參列し壯嚴を極めたり(同上)

▲滿鐵と金融機關

滿州銀行の設立は後藤遞相も贊成したれども南滿州鐵道株式會社にも經營すべき意見を有せり(二十八日)

▲鐵道院に合併內定

韓國鐵道は小林參事視察の結果鐵道院に合併することに內定す(廿八日)

▲東京市の大出水

昨夜東京市豪雨の爲浸水家屋一萬二千あり(同)

奉天電報

▲吉林順撫の好意

吉林順撫は自己の地位鞏固を計らん爲め日淸協約に好意を表し日本の感情を緩和せんと努め居れり(二十八日)

香港電報

▲キ元帥の香港着

英國元帥キッチナ將軍は二十七日當地着五日間滯在の豫定なり(二十八日發)

雜報

●韓國保護の經費

我國が目下韓國保護のため支出せる金額は左の如し

統監府經費百二十萬千八百八十六圓▲統監官舍新營費九萬九千九十七圓▲理事廳新營費九萬七千三十七圓▲軍事費二百九十八萬八千二百七十三圓▲派遣部隊豫備費三百六十三萬圓▲海軍用地經營費三萬千二百廿二圓▲立換金四百六十五万三千五百四十四圓▲總計千二百七十萬千五十四圓

右の外韓國鐵道、韓國森林資金繰入高五百五十萬圓並に東洋拓殖會社、朝鮮海水產組合、居留民教育補助費等約三十七万圓を加ふるときは韓國保護のために要する我國庫の支出額は實に二千二百萬圓に上り尙明年度におい ては司法權委任實行費および京元線敷設費等新に支出を要すべきもの少からざるを以て二千五百萬圓以上に達すべしと

●山根代議士の衛生談

入京中の山根代議士は一昨二十七日午後一時より京城ホテルに於て衛生に關する講話を爲したるが其要は第一に傳染病に關する概論を述べ次に日本における傳染病の歷史水と傳染病の關係を說き夫れより飲用水は水道水を用ゆること其他一般の豫防事項に論及し此際官民一致防疫を斷行すべしと結論せり又午後五時より圓覺社に洞長、統首、統長等約六百名を招集して同じく衛生講話ありたるが要は前記と大同小異にして唯平易に詳述したると韓人の往々隱蔽するの弊を戒めたり尙は山根氏の講話に次ぎ兩度共藤田軍醫監の有益なる虎疫豫防に關する講話ありたり

●韓人の郵便貯金劇增

光化門郵便局に於ける韓人の郵便貯金は四十一年八月にて金額百廿九圓人員百四十四人又た新規貯金は同十六圓六十五錢人員八人なりしものが四十二年同期間に於て金額五百八十三圓人員二百十三人にして僅に一年間に五割二分の劇增又た新規預金は同期間二百九十一圓六十五錢人員二十二人にして四割六分の增加なり又切手貯金は四十一年八月分人員二人金額一圓十錢なりしが本四十二年に人員八十人金額十八圓四十錢に增加し新規預金は先年に於て僅に一人なりしが本年にては七人なりし

●大同團結と李完用氏

大韓、一進兩黨の大同團結を見たるに就き某漢城政客は語りて曰く現內閣の主腦李完用氏は往年の日本に於ける自由、進步兩黨提携の際時の總理伊藤公は內閣の椅子を隈板兩伯に讓り渡したる如く此際潔く內閣を兩黨に讓るは策の得たるものなり何となれば凡そ何れの國と雖も聯合內閣は必ず分裂を見るものなれば李完用氏は今時勇退して一面其勢力を涵養すると同時に一般民衆の聲望を集めなば聯立內閣瓦解後は期せずして李氏のものとなるべしと云々と(京通)

●警察部長會議の終了

警察部長會議は本日も內部に於て開會午前九時より正午に至る迄松井警務局長の訓示あり夫より一同撮影更に午後一時より再開岡次官の訓示あり終りて打合會を開き是にて全く會議を終了したるが今二十九日は松井警務局長自宅に於て各自を引見し約三十分間宛各自所管の特別事情を開陳局長の訓示を乞ひ三十日は各自關係官衙に就き種々打合をなし來月一日夫々歸任の途に就く筈

多三郎賣掛代金請求、上訴及び被上訴人梶原末太郎被上訴人藤田淸太郎間損害賠償請求▲刑事窃盜被告人川崎丑松

●朴泳孝下賜金に就て

此程例の朴泳孝に一万圓の御下賜金ありしを以て種々の流說を放つものあるが元來朴は金陵尉にして皇族待遇なれば毎年內帑金中より一万圓を下賜されつゝあるものにて今般下賜されたるものも夫れなれば別に怪しむに足らざるものなりと

●臨時防疫規程の發布

虎疫の流行益々猖獗を極むるを以て統監府にては過日來防疫方法に關し韓政府と協議中なりしが協定成りしを以て今日の統監府公報號外を以て臨時防疫規程なるものを發布すべしと

●救世軍新聞發行中止

救世軍にては宗教擴張の一策として機關新聞を發行することゝなり已に第一號一千枚を印刷に附し京城各地に配布したるも其結果不良にして收支償はざるにより發行を見合することゝなりたりと

●屠獸規則と日人

韓政府は曩に屠獸規則を發布したるが韓國に於ける屠獸業者中には日本人も尠なからざるを以て統監府は此等從業者の取締に關しては罰則を規定したる統監府令を發布すべしと云ふ

●大臣會議の例會

昨日午前十時より各大臣統監邸へ參集大臣會議の例會を開き曾禰統監臨席し隆熙四年度豫算編成に關する方針を說示し其他重要問題を付議せり

●追加豫算の公布

本年度總豫算及び特別會計豫算追加の件公布せらる

歲入總計　十五萬六千三百五十三圓
歲出總計　十五萬六千三百五十三圓

●燈臺局官制改正

燈臺局官制改正され看守五十二名を八十四名に增加せらる

●敘任辭令

左の通り辭令ありたり

任內部事務官(奏任三等)　佐藤重治
任判事(同上)　大宅伊敏　安田繁太郎
任判事(奏任官四等)　原正鼎

●韓銀株と引續期

韓國銀行株式應募割當は三百二株につき一株を割當て又端數は三百一株以下の應募者に對しても申込數の多少に拘らず總て一口として一株の抽籤に與らしむることとし廿八九日頃までに抽籤を了し全部募入確定の上直に募入通知書を發し其通知書は來月二日までに全部到達すべき見込なれば募入漏れの證據金は同月二三日頃より拂戾す事となるべく尙第一回の拂込は通知書の到着後約一週間と見做し創立總會を開て委員長より總裁の手に引繼は多分十月廿四五日頃也と

●仁川會議所の役員會

仁川商業會議所役員會は既報の如く一昨廿七日午後四時より同所樓上にて開會したるが出席議員は加來、青木、伊東、市川、村谷の五氏にして先づ第一に四十三年度豫算案に就て愼重なる審査を遂げ第二は勞動組合新設に關する理事官の諮問案件に就きて凝議したるに現在の韓人勞働組合以外に二三の組合を設立せしむるは目下の急務なるべしとの意見一致し次で第三、本月を以て契約滿期となる穀物檢查存續問題に就ては今少しく內部の改良を爲したる上存續する事に決したり而して右三件は何れも來る三十日午後七時三十分より開會すべき總會に附議したる上決議せらるべしといふ

●天氣豫報(自廿八日午後六時至廿九日午後六時)

晴れ

●仁川近海本年の漁況

仁川近海に於ける本年の漁況を聞くに一般例年に比し頗る不況にして現に本邦よりの出漁者は暴徒の出沒を聞知して危惧の念を抱き出漁する者著しく其數を減じたり從て漁獲高亦尠少にして春漁季に於て既に失敗し來るべき秋季の漁期には豐漁ならんと當業者は想像し居りたるも漁獲思はしからず少量の鯛漁あるに過ぎず然れば魚價は自然暴騰を告げ當業者は少數とて寧ろ實入好きなり因に本年の漁業は獨り仁川近海のみならず韓國全海岸共不振にて實にや陸の豐年は海の凶年なりとの諺は人を欺かずと當事者は語れり

●韓銀事務章程の起草

韓國銀行事務章程は目下東京創立事務所にて起草中の由なるが其內容は範を臺灣銀行に則とる可しと云ふ

●一銀貨幣發行高週報

一 第一銀行券總發行平均高(自九月十九日至同月廿五日)	一一、二〇二、〇〇〇
內正貨準備發行額	三、八〇一、四〇〇
保證準備發行額	七、四〇〇、六〇〇
二 銀行券平均手許有高	七一二、二一七
三 銀行券市場平均流通高	一〇、四八九、七八三
四 硬貨發行額(九月七五日現在)	四、六八五、九五〇
內金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	七一八、〇〇〇
同　廿錢	八五五、五〇〇
同　十錢	六五七、五〇〇
白銅貨五錢	七七〇、五〇〇
青銅貨一錢	一六八、六二〇
同　五厘	六五、八三〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●穀物輸出獎勵の請願

仁川穀物協會々頭奧田貞次郎氏より其筋に穀物輸出獎勵補助の請願を爲したるが其內容は現在に於て韓國より英國、佛蘭西、和蘭布哇、獨逸諸國に輸出する穀物は運賃等の關係に於て相場不引合となるを以て自然輸出を減退せしむるを以て右諸國に輸出するものに限り當分の中米穀は一石に付五十錢雜穀一石に付き二十錢の割合を以て五万圓を超ゑざる限りに於て補助金を下附せられたしといふにあり

●連絡船の賃率低減

我滿韓移住民の獎勵上宜しく往來の經費を低減すべく隨て滊車滊船及び旅館の宿料を大に引下げざる可らずとは一般に唱道せらるゝ所なり就中鐵道院の所管直營たる關釜航路の運賃を率先して引下げざる可らず若し往復全部として俄に低下を行ひ難き事情あらば責めては片道則ち往航に限りて低減するも移住獎勵の一法なるべしとの議內外の間に熱心に主張せらるゝに至れり而るに其筋に於ての詮議なりと云ふを聞くに愈よ梅が香丸が航路に從ふ事となりたるの曉は梅か香丸の運賃を現在の賃率に止め他の壹岐對馬等の船賃を多少引下るに至らんかとの模樣ありと素より今日に於ては之が實行せらるゝか否や又實行せらるゝに於ては果して幾何の低減を見るかは知る可らざるも兎に角滿韓移住の獎勵上京釜鐵道の短距離間賃率の低下と共に關釜連絡船に於る賃率の低下も亦必要なる助長的の措置ならんか

●南韓の輕便鐵道

移民の增加は交通機關の完成を促し釜山軌道株式會社の經營に係る釜山鎭より東萊に至る六哩四十一鎖の輕便鐵道は目下着々其の工を進め既に軌道布設の大半を終り來る十月末より愈々運轉を開始する由なるが同鐵道の工費豫算は用地費一万圓、土木費一萬四千圓、軌道費一萬三千六百圓、車輛費一萬六千圓其他枕木、停車場、橋梁等四萬圓にして會社の資本金は十万圓なりと

●釜山の船渠計畫

釜山に於て數年前より船渠建設の計畫をなせるものありしが當時猶は經濟事情許さゞる所ありて其後中止の姿となり居りし處同港に於ける船舶の往復は漸次頻繁となり船渠の必要を痛切に感ずるに至りしより今回鐵工所を兼ねたる引揚船渠の建設を目論見其筋に向つて此が補助を請願せんとするものありと云ふ

●藪野椋十氏來る

都見物さては世界見物に於て奇警の觀察を物し喝采を博したる藪野椋十實は東京朝日新聞社社會部長法學士澁川柳次郎氏は來る十月一二日頃來京の旨大阪朝日特派員山本桃州氏へ來報ありたり氏が韓內地に於ける縱橫の着目こそ又も奇拔のものあるべし因に氏の着京を俟ち有志相集り歡迎の宴を開かん計畫ありと

●小松書記官出發

統監府書記官小松綠氏は外國人に關する事務國境貿易の現狀及露淸領に往來する韓國人の模樣等視察の爲め今廿九日南大門發元山城津を經て浦鹽へ出張の由歸任は來十月廿五日頃の豫定

●べ氏の統監訪問

佛國總領事ベラン氏は近日歸國の筈に付一昨日暇乞旁々敬意を表せん爲め曾禰統監を官邸に訪問したるに統監は小松書記官及び三浦理事官を率ひて面會せられ數刻間の會談をなしたりと

●佛總領事の榮轉

京城駐在佛國總領事ベラン氏は今回南米の某國公使に榮轉する事に內定せりと因に韓廷は同氏に對し特に勳一等八卦章を贈る事に決定したりと

●大久保大將歸着

北韓巡視中なりし大久保軍司令官は昨夕歸着せられたりと

●佛總領事の訪府

京城駐在佛國總領事ベラン氏は不日歸國するに付き昨日暇乞の挨拶の爲め副領事ドラ、プラート氏同伴にて統監府に鍋島外務部長を訪問したりと

●堀越囑托の歸任

農商工部囑托堀越秀助氏は韓國製紙業調査の爲め全北晉州地方へ出張中の處去る二十七日夜歸任せりと

●山根代議士歸鄕

入京中の山根正治氏は今朝出發歸東の途に就きたる由

●白總領事の交迭

京城駐在白耳義總領事は近々歸國し後任は現香港領事に確定す

●信夫理事官入京

信夫仁川理事官は昨日公務を帶びて入京したるも即日歸仁せり

●鶴岡書記官歸任

豫て歸省中なりし農商工部書記官鶴岡永太郎氏は廿八日歸任す

公人私人

▲黑部寅一(仁川稅關事務官)廿七日入京
▲安井丈夫(日本肥料株式會社員)同上浦尾
▲河原知亮(黃州區裁判所判事)廿七日退京歸任
▲谷口小次郎(鐵道廳技師)同上平壤へ
▲水野重助(平壤區裁判所判事)同上

近事片々

▲統監● 更迭說は亦持上つた現在統監には毎日政務を見つゝあるでないか甚だ可怪也
▲氣早● にも亦後任者迄報じ來る其後任者は伊東晨亭子也と統監としては或は適任か
▲過日● の濱酒家會合にも晨亭子加はり居る此等の關係よりも斯る風說の生せし者か
▲晨亭● 子と後藤男とは由來頗る親善何れかと云ば蠻爵が或場合に晨亭の腕を煩す爲
▲蠻爵● の滿鐵總裁となるや晨亭は股肱の龍居賴三其秘書役に推薦す兩者の關係甚深
▲己代● 治子にして若し統監たらば或は後藤的の蠻勇を揮はむ唯彼は雅量乏きを憾む
▲彼は● 隨分無頓着の男會て農相たりし時代雪駄履にて本省に出で平然此點は平民的
▲退隱● の際は必ず日報社に立寄りて社員に命令を下だす杯隨分傍若無人の擧をなす
▲併し● 斷じて行ふの勇氣に至りては一寸珍故奧陸宗光も彼の斷には舌を捲きたりき
▲政黨● の首領にも宰相にも狹量過ぎて資格を缺ぐ統監どならば或は事蹟を擧げんか
▲大內● 代議士大に氣焰を吐いて歸朝す韓國各般の施設悉く官吏萬能なりと痛罵せり
▲各種● の階級者此通弊有而も病膏肓に入るの感あり是れ伊公の虛榮政策の結果也と
▲來る● 廿六議會に於て大に韓國問題を絕叫して桂內閣を督勵すべしと大氣焰を吐く
▲是を● 以て韓國問題に關する言質を保留し置かんと甚だ可し希くはシッカリと頼む
▲淸國● 政府は韓國京城釜山に大淸銀行を設置し金融機關の掌握を計らんとは良計畫
▲淸國● 商人には韓國に淸國銀行を設くるの必要有淸國政府の此擧は當然の事ならむ
▲浦鹽● 自由港を閉鎖し却て自國の產業を害す加之密輸入の取締に殆ど煩に堪へずと
▲政策● を以て輸入を防遏せんとするは由來愚の至り或點迄には自由開放を以て可とす
▲大阪● 朝日は痛快なる政治家として英國のロイドヂョージ氏を評論せり頗る同感也
▲北極● 探險家クック氏紐育市より市民權を與へらる是れ平民國に於ける最太の名譽

十三萬四千百十五圓、輸出額四十七萬七千九百五十七圓、輸入額六十四萬六千九百六十[illegible]圓、消費額一千[illegible]二百三十萬三千[illegible]百二十

●公判だより　今廿九日法務院に於ける公判左の如し
▲民事、上訴人田淵保太郎被上訴人玉[illegible]

●色銀鬼と消費高　一昨廿七日の京城新町遊廓の色銀鬼は總數六十五人にして消費高は三百〇九圓七十六錢なり

●[illegible]　廿七日（華氏）　最低温度　五五、九

▲相談の相談▼（何でも御相談に應じ升）

◎問　昨日以來水道の水非常に溷濁せるが時節柄何んとなく不安の念に堪へず衛生上支障此れなきものにや相談としては如何はしけれども私一人の爲めに非ざること故御問合せ下されたい、無料使用を許したる爲の給水設備に不足の點あり爲めに此の濁りを生じたるものとすれば一大事と思惟しますので一寸尋ね致します（旭町住人）

◎答　御尤もなる御配慮に之れ有り候、記者も實を申せば其の懸念を有する一人に御座候より御依頼に接したるを好機として内部衛生局に問ひ合はせ申候所内部にても當時夙く其點に留意し水道局に宛て充分取調べしめたる由にて其の結果毫も差し障り無き旨水道局より回答し來りたりとの事にて内部にても其の言明は信ずるに足るものと認め居らるゝ次第なれば衛生上無害なるものと安心せらるべく候生水飲用は不可（係）

◎都外川君　よ君は過日本紙平民文庫欄に於て面會したき旨申入れられたる方に面會せられしやアヒルの卵同樣相談の遣つ放しは御免蒙る尤も未だ其の文を見なかつたのなら至急來社せられよ先方の氏名れ致へ申す（係）

◎問　私は此の程東京より渡韓したるものなるが有利なる事業計畫せるも資金二百圓を要す何人か出資し下さる方はなきか利益の分配案等は面談（新渡來者）

◎答　幾度も同じ事を云ふ樣なるが金談は御免蒙る無料紹介係へ申入可し

●虎疫患者の總數

▲京城市内の累計七百名　廿七日午前八時より廿八日午前八時迄の京城虎列拉發生は百一名内韓人九十七名日人四名死亡九十二名内韓人七十名日人二十二名累計六百九十一名内死亡四百四十五人なり廿七日仁川發生六名新義州四名義州十三名全國累計千七十二人なり

●仁川方面の虎疫彙報

▲一昨日の新患者僅に五名　仁川に於ける虎疫は當局者が豫防消毒に盡したるの甲斐ありて漸次下火となり現に日本町には仲町三丁目に只だ一人の患者あるに過ぎず其他の韓人部落に至りても一昨日松林里、水踰洞、花村洞、永宗島に各一名の新患者發生したるに止り此分にてあれば終熄の期近きにありぬべし

▲コレラ患者の行倒　昨日午前八時頃宮町一丁目道路に行倒れ韓人あるより係官出張して取調べたるに全く虎疫患者なりしかば傳染病者收容所に離隔すると同時に嚴重なる消毒を行ひたる由なるが右韓人は仁川稅關所屬の人夫なりと云ふ

▲永宗島の戸口調査　病毒の根源地とも稱ふべき永宗島には仁川署より二宮警部以下警官醫師出張して防遏に努めたる結果殆ど同島に於ける病毒は全滅するに至れるを以て更らに附近島嶼に對して昨日より檢疫的戸口調査を開始したりと云ふ

▲汲水夫の健康診斷　仁川市中に飲料水を販賣する水汲人夫百數十名に對しては毎日内洞派出所に於て健康診斷を施し健康者に對しては檢査證を附與しある由なれば市民は右檢査證なき韓人水汲は疑はしきものと見做し直に其旨仁川署に内報せらるべしとなり尚ほ宮舘署長は一昨日牛角洞方面に於ける井戸六個所を巡視したるが何れも不潔云ふばかりなく病毒浸入の虞あるより直に改造を命じ若しこれに應ぜざれば本日限り飲料水の販賣を禁止せらるべしとなり

●京城市内の虎疫彙報

△漸次終熄の模樣あり　一昨廿七日西部署管内に於ける新患者は△青坡三契金桂七（三）△盤石坊大里門洞李致明（六）は死亡△餘慶坊紫門洞安胤基次男安壽（十二）は死亡△濟衆病院内韓昌雲妻金氏（三二）は死亡△餘慶坊松橋金明弘方趙召史長男趙壽甲（十三）△福井縣士族當時吉野町渡支部員早水旭妻せき△餘慶坊西條峴李漢德方居留人力車夫白聖七（三九）及び同人三女白甫順（七）の八人にして南部署管内にては△薫陶坊大山林洞姜順一（四七）△南部誠明坊誨洞成召史（三七）△南部薫陶坊椒洞李福介（五三）△南部會賢坊司諫洞鍾路商朴健植（六二）△山口縣平民當時旭町二丁目女髮結今井なか（三十）△長崎縣平民當時大和町一丁目馬場して（三六）△竹洞八十二統徐聖三（五三）の七名なり

●糞尿夜間汲取に就て

△南部署防疫係員の談話　虎列剌病流行豫防撲滅策强行の爲め當分の内夜間糞尿の汲取運搬を爲すとは既に管内に通達ありしにも關らず其后經過を聞く所に據れば該主旨一般に徹底し居らざる點もあるならむが市民中往々にして之が執行を拒み又は故意に門戸を開放せざる向もありて當局者をして大に困難を感ぜしめつゝあるが一般公衆は此際なるべく當事者に便宜を與ふる樣充分注意せられたしと

●衛生局長宅のコレラ

▲水道の水とて油斷はならぬ　コレラは何所でも遠慮はせぬものと見へたり内部衛生局長の雇人金姓女は昨朝罹病し避病舍に收容せられたりとは物騒千萬と云ふべし各市民は此際充分注意し水道の水なりとて油斷せず其筋の諭達通り必ず煮沸して用ゆること肝要なり

●誤て幼兒を轢く　昌德宮内醫院抱人力車夫文順一（二十）は一昨日午前十一時頃京城永樂町二丁目百二十七番戸の五伊藤茂一二女靜子（三）が自宅軒下に遊び居たるに誤つて衝突して兩足背部に微傷を負せたる騷ぎに兩親は大に驚き直ちに永樂醫院の診察を受けたる處治療日數凡そ五日を要すとのことに南部署より係官現場に出張して結局文に治療代金二圓を差出さしめて示談せり

●コレラご韓人醫　漢城府に於ける韓人醫師醫學得業士安商浩、金弼淳、金熙榮、李錫駿、朴容南、朴瑞陽、張基茂、韓景敎、鄭潤海の九名は目下猖獗を極めつゝある虎疫を傍觀するに忍びずとて防疫に關する方法を具し獻身的檢疫事務に從事すべき旨を内部大臣へ向け請願したれば當局は以て美擧なりとし防疫執行委員及補助員と共同檢疫に從事せしむべしと

●落ぐり　豚廼舍主人

○むら子に申し上げ候
其の穴があれば自分の棺を埋め
○拙作を歡迎せられて
薄資本仕入れのたねは直に切れ
○火星より見たる人類
人類の進歩は自宅の犬ぐらゐ
○同
敎へたらチン〱位やるだろよ
○韓妻殿の集合
他所行きの行儀つくらふ夫人會
○御用記者先生
其の理想先づ當分は風しだいむら

●コレラ流行

汪濶には屁も放れられぬ辻べんじよ
いゝカリ多き世とはコレラを申す也
認可主義に改ためたらばご相談し
其の論達石炭酸をウント入れ
演說や論達石灰ほどきかず
出來てから猥狽るこどが豫防なり

●船夫の割前喧嘩　一昨日午後七時頃仁川花町一丁目大師堂下に於て船頭風の男が入亂れて格鬪の眞最中なる旨訴出に接し宮町派出所より巡査出張して取調べたるに海岸に繋留せる團平船の船頭中村茂三郎外二名の者が曩に蒸滊釜の運搬を受負ひ其の賃金の割前の事より喧嘩したるものなる判明せしかば說諭の上和解せしめたりと

●人骨の置き去り　一昨日午後十一時仁川濱町旭屋旅館前道路に怪しげなる白木の箱を置きあるを同家の雇人若宮芳之助と云ふが認め何物ならんと竊かに箱を開けて見たるに這は抑も如何に人骨の入り居るより大に驚きて其旨宮町派出所に届出でたり

●仁川淺岡の新妓　仁川淺岡本店に一昨夜より現はれたる新妓は勝利事廣島生れの宮岡きさを（二四）香川縣生れの桝子事大野まさ（十七）と云へる二妓にして兩人とも京城井門に左褄を取り居たる劣妓なりとぞ

●十月中行事（京城測候所報）

暦日
祭日　繼天紀元節　十月十二日
　　　神嘗祭　十月十七日
　　　千秋慶節　十月二十日
日曜　三日、十日、十七日、廿四日、卅一日
節氣　寒露　九日午前七時十三分
　　　土用　廿一日午前九時三十五分
　　　霜降　廿四日午前九時五十三分

晝夜の時間	晝	夜
八日	十一時三十四分	十二時二十六分
十八日	十一時十分	十二時五十分
廿八日	十時四十七分	十二時十三分

●三越の賣出延期　本町二丁目三越吳服店出張所にては來月一日より秋季大賣出を開始すべく增築其他の準備をなし既に整頓したるも時節柄多數顧客の群集は公衆衛生に害あるべきを遠慮して暫く廻期する由

●コレラ豫防藥　陸軍一等藥劑官渡邊悅之輔氏が日清日露戰役中實驗の結果發明せるコレラ豫防丸は大和町二丁目漢城製藥所より發賣せるが日常之を服用する時はコレラ其他惡疫を未發に豫防するに特効ありと

吉凶鏡　本町五丁目　三一館判斷

九月廿九日　舊八月十五日五黄佛滅壬辰

やぶ△一白　不如意の事多し控へ目にすべし他人の佞辨を信じ親しき間に離間爭端を醸すわ△二黑　誘引勸獎に陷ゆるなかれ悔わ斷行に鈍にして機を失するなかれ△三碧　物事不得要領に終らん新事手控の事家庭内に小心痛起らん△四綠　不振の日舊常より特異の事凶口腹の禍防ぐべし△五黄　蹉跌齟齬多し創始改易凶其他謹愼を要す△六白　濟美の日創立開始吉只家庭内に小波瀾起らん△七赤　快欣の日萬づ進んで吉兼業副業を求め子孫の計を謀るに吉△八白　心中誠實誠意あれば良き友を得べし保證引受見合すべし△九紫　物事不得要領に了り易し又自已の口より秘密を洩らし悔あり右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

◀平民文庫▶

▲廿五日發行の東京毎日電報の申上候欄に動物愛護會は近く演說會を開き大いに犬の爲に氣焰を吐く由に候目的は過日警視廳より發布ありし畜犬に口輪を爲すを動物虐待として攻むるのに御座候と有之候犬に口輪を爲さしむるのさへ斯くの如く問題となる日本は文明に御座候同じ陛下の赤子たる吾人は韓國に住するの故を以て盜人にさへ吠ね付くを遠慮致さゞる可らず然るも一人の起つて人類虐待の非を攻め人の爲めに氣を吐くの志士仁人を有せざる韓國は野蠻に御座候はずや（悲觀子）▲悲觀子に申す、韓國の住民だとて盜賊に吠ね付くを遠慮致すの必要はない君の如く萬事を僻んでは不可ない隣の膳の肴を大きく看る居候根性を出しては不可ない、拙者は肩の凝る性質だから堪窟見た樣なことは聞かして呉れ給ふな（係）▲仁川各國公園地の首吊り死人の遺書に依つて見るに惜しいかな渠れは門に入つて未だ堂に上らざつたナ死んや職を失つたからと云ふに至つて之れが明である死ぬのに理屈が何必要ものか詮する所狂人だらう（ほへと）▲一昨日西小門外を通つた時道傍に跪んで奇麗な大根に一々溝泥を塗つてる韓人がある何をして居るのかと聞いたら泥の付いてるのでないと警視廳サヲミに取られるとの事だから汚して居るのだとウンザリしたよ（通行人）▲ウンザリした丈では不可ない心得違ゐを諭して呉れ給へ當局者が何程骨を折つて防疫に盡瘁しても一般人民が冷淡では何んの效果もないよ（係）▲廿五日の晩長谷川町末廣亭の野澤吉昇の稽古場へ上田と云ふのと其の乾兒の德と云ふのと二人して暴れ込んで稽古中の眞駒と云ふ興行師の禿頭を打ち破つたので眞駒も靜然とは爲て居ない德と云ふ男の睾丸を握り緊めたので奴さん眼を白黑させながら大聲上げて人殺しい—他人の頭を打つ破して居いて人殺しいは振つて居たよ（實見生）▲良心は否認して居る然し溺れたるにあらず迷へるにあらず淋しき心の園に慰安の花たらしむべき彼女—敢て溺るゝにあらず汚すにもあらず淸淨無垢天使の如き彼の聲を聞かん爲めに外ならず斯くしたりし慰安が却つて煩悶の種となるともまゝよ曾ては女を厭ひ女に厭はれし吾今の心は進歩か將退歩か（春郎）▲本町七丁目の西洋人の煙草屋では家と家との間に積み上げた空箱の上で石油を打つ掛けて七輪で火をオコす近所ではヒヤ〱する何んとかして改良して貰はぬと困る（近所總代）▲虎列拉は今や本社の四方に迫り日々近隣から數名の患者を出して居る虎包圍の中に奮鬪は隨分險呑だな（小僧）

各種洗濯石鹸 專門製造販賣
用途一 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

入院隨意 內外科 小兒科 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

馬車配達 滋養と牛乳●●● 衛生と消毒●●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

◎消閑之清遊◎
毎日午後開會 諸君子陸續御臨を期ふ
京城明治町一丁目 京城碁會（大和湯前〇万鎌）
◎市中之仙境◎

味の素
味の素 和洋料理は勿論一般の家庭料理として日常欠可らざるもので鰹節や昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶 四十五錢 三十錢
他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店 京城 辻屋 電話二四八番

眼科專門
京城本町二丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院（電話三三）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

牛乳 純良 消毒 檢查濟
韓國畜產株式會社 南大門外（電話八八番）

卸 小賣 茶
京城本町五丁目 富士の里茶舖 電話九七九番

荒物世帶道具一切
大坂 合製白絞油和洋蠟燭 和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒 並に買次業
京城本町六丁目 西崎嘉七本店
電話長三一〇 電略（ニカ又はニ） 振替貯金口座東京（九四一七番）

廣告

暖爐各種
煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戶 馬木勇吉 電四七一番
龍山山下町兵器廠官舍道入口 馬木支店 電三六四番

辯護士 特許代理業者
京城明治町二丁目（佛國教會前） 岩田仙宗 電話三五四番

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●
概略營業品目
和洋帳簿諸紙類 文房具學校用品 卷紙封筒手帳類 帽子洋傘クッ鞄 洋服附屬品一式 メリヤス類一式 毛布膝掛馬車掛 石鹸香水齒磨類 タオル、ハンカチフ 手袋沓下袋物類
正札 一 引なし
官衙、陸軍 銀行、會社 御用達
京城本町四丁目 池田長兵衛 電話二百〇六番
和洋雜貨 卸小賣商
●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版 各種印刷 帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷 諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社 京城明治町三丁目 電話三三三番
出張所 東京麴町區麴町八丁目十九番地 電話番町二九〇番

辯護士 岡田榮
熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町二丁目六十七番戶（電話三九八番）

藥學博士丹波敬三先生發明
消毒 防臭 殺菌劑
クレシン
クレシンニハ虎列剌菌、腸窒扶斯菌、實布的里菌等黴菌中最頑强ナル黴菌發生ノ抑止殺滅ニ偉大ノ効力ヲ有スル事現時發賣スル他ノ防腐消毒藥中比較ス可キモノナク而モ其價格ハ非常ニ低廉ナレバ惡疫流行ノ兆アル昨今公私衛生上殊ニ必要ノ良劑ナリ
販賣元 東京 合資會社 高田商會銀座販賣店
韓國特約店京城本町 山岸天佑堂藥房（電話三百七十二番）
各藥店にて販賣す

內國通運株式會社
貨物運送取扱 税關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 代金付貨物運送
京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話一五一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話五一六番 草梁驛前 電話六三七番
龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
東京火災（海上）運送保險株式會社
京城代辨店 本町四丁目 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

代理店

懷中要藥
清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして滊車滊船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効あるを以て發業家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其恐ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙●
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（罐入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は世間到る所の有名藥店にて販賣す
京城南大門通三丁目 電話（九百四番） 新井藥房本店
京城本町三丁目（電話千六十八番） 新井藥房第一分店
（電話四七八番） 京城南大門外 新井藥房第二分店

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 弊場夙に此に留意し好良の食料を給す
販賣元 京城本町五丁目（電山七番） 松尾支店
搾取所 京城東四軒町（電七五番） 松尾牧場
●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御華君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒（壜詰）精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食麵各種特約販賣商御申に依り商品切手調進仕候（電話二一五一番）

LAGER-BEER KIRIN BREWERY COMPANY

綿 わた ワタ
やすくうります
ふとん地色々 ふとん調進、太物類、洋反物類
卸問屋
京城明治町一丁目四ッ角 唐川商店 電話二六一番

三一館
焦心單志多年爲斯道研鑽 奥旨悦然似有得者匪誇推服 敢敢詰洋醉衆福臨薬面確當也
京城本町五丁目
易斷鑑 相敎授 館主 土御門派大陰陽師

特定御用 消毒 純良 牛乳
荒井牧場 電話一〇五六

●新聞料 一ヶ月金二十錢 ●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢
發行兼編輯人 高木久七
印刷人 久保神一郎
發行所 京城 新報社 電話六六三